

第 4 回日中木材及び木材製品貿易検討会実施計画（案）

1. 趣旨

中国は日本国における木材及び木材製品の最大の供給国である。2011年8月、両政府間で「各自の国において、木材及び木材製品の伐採、加工、流通と輸出にかかる合法性証明システムを構築し、合法性が証明された木材と木材製品の貿易と利用を促す」こと等主要内容とした違法伐採取締に関する覚書を交わした。このような背景のもと、本検討会を計画し、日本国政府並びに民間における合法性が証明された木材調達に関する最新動向を紹介しながら、中国の木材及び木材製品輸出入企業や関係者らと意見交換を行い、両国間の木材及び木材製品の合法的貿易を促進させる。

2. 過去の実績

- 第 1 回検討会 2009 年 11 月 広州市
- 第 2 回検討会 2010 年 12 月 大連市
- 第 3 回検討会 2011 年 11 月 臨沂市

3. 第 4 回検討会計画案

近年、「USA Lacey Act」の修正案、EU の木材法案、オーストラリアの「違法伐採禁止法案」などの違法伐採を強制的に抑止する法規が相次ぎ実施された。これらの違法伐採対策のための施策は、先行した日本政府のグリーン購入法に基づく合法性が証明された木材の普及の延長線上にあるものである。日本国内での近年の合法性が証明する木材の調達動向の変化と合わせて、上述の 3 つの関連法案の紹介を含めたフォーラムが開催されることとなっており当検討会をその一環として開催することとする。

- (1) 会合のタイトル：国際木材市場の新規則への対応と木材原材料の責任ある購入
- (2) 主催者：中国木材及び木材製品流通協会・日本全国木材組合連合会・国際野生生物貿易研究組織 (TRAFFIC)・世界自然保護基金—グローバル森林貿易ネット (WWF—GFTN)
- (3) 時期：2014 年 3 月 19 日
- (4) 場所：広州市
- (5) 参加者：日本、アメリカ、FU 市場向けの輸出木材及び木材製品の生産企業、木材及び木材製品貿易・販売企業（ないし代理機構）、日本の合法材利用制度や現状に興味を持つ関係者。

4. 暫定会議次第

	内容	講演者
午前 の 部 900 -1215	参加者の自己紹介（企業と産品）	司会者
	開会挨拶	流通協会
	開会挨拶	全木連
	開会挨拶	地方協会
	木材原材料責任ある購入システム構築の意義	金鐘浩（WWF－GFTN）
	国際貿易に影響を及ぼす国際条約と法規の概要紹介	TRAFFIC
	質疑	
	コーヒーブレイク	
	日本における木材利用拡大と、合法性が証明された木材の普及拡大に関する取組み	全木連
	質疑	
	EU の木材製品買い手が売り手に求める合法性情報の提供	EU 森林研究所
	EU の木材製品買い手が売り手に求める合法性情報の提供	Frank/Xie Kingfisher Asia Limited
	質疑	
	ランチタイム	
	食後リラックス（皆で賞品付ゲームを）	司会者
午後 の 部 1330－ 1700	米国レーシー法の紹介	在中国米国大使館
	米国の木材製品買い手が売り手に求める合法性情報の提供	米国木材製品取扱業者
	質疑	
	如何にして責任ある購入システムを構築するか	WWF－GFTN
	質疑	
	木材合法性ガイドラインの枠組み	TRAFFIC
	質疑	
	閉会	TRAFFIC